

今年1年を振り返って

森川泰丞 GPT

今年1年を振り返ると、様々な出来事がありましたが、中でも特に印象に残るのは西医体です。私たちのチームは、予選を無事に突破し、関西医科大学、和歌山県立医科大学、金沢医科大学との戦いを制することができました。この予選突破は、チーム全員の努力と団結の賜物でした。毎日の練習や試合での反省を積み重ねてきたことが、この結果に繋がったのだと感じています。

そして迎えた決勝トーナメント。1回戦では岡山大学を相手に素晴らしい戦いを繰り広げ、見事に勝利を収めることができました。しかし、2回戦目では九州大学に惜しくも敗れてしまい、結果としてベスト8という悔しい結果に終わりました。それでも、予選を突破したこと、そしてチーム全体が一丸となって戦えたことは本当に嬉しく、誇りに思っています。

来年の西医体は私にとって最後の西医体となります。悔しい思いもありますが、その分、次こそは頂点を目指して全力を尽くしたいと思います。これまでの経験を活かし、チームとして一層の成長を遂げ、最高の結果を残せるように努力していきます。

また、剣道をできる環境に感謝し、その恵まれた環境の中で日々の稽古に励んでいきたいと思えます。剣道は単なる技術だけではなく、精神面でも多くを学ばせてくれます。その学びをしっかりと自分のものにし、次の一年を充実したものにしていきたいと考えています。

これからも支えてくれる仲間や指導者に感謝しつつ、剣道に対する情熱を持ち続け、精一杯努力していきます。来年も成長し続ける自分を目指して、仲間と共に頑張っていきたいと思えます。

最後に、医療現場の最前線でご活躍されているOB・OGの皆さまに心から敬意を表し、ご健康とさらなるご活躍をお祈り申し上げます。日々、命を守るために尽力されている皆さまの姿は、私たちにとって大きな励みです。私たちも、医学生としての責任を果たすべく努力し、少しでも皆さまに近づけるよう邁進してまいります。引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。